



京都府立大学では2013年10月に男女共同参画推進室を立ち上げて以来、女性研究者が出産・子育て・介護などのライフイベントと研究の両立をはかれるように、研究支援を行ってきました。また、若手女性研究者のスキルアップに役立つイベントや情報提供をおこなっています。この冊子もそのひとつです。

本冊子は、女性研究者ロールモデル集の第1集です。本学の教員・共同研究員・卒業生・大学院生の生の声を皆さんに届けたという意図で企画しました。子育て真最中で時間のやりくりをしながらも、研究の面白さを実感している女性、企業で働いた経験を活かして研究者の道を歩む女性、重責をしなやかにこなす管理職、これからキャリアを積み上げていく大学院生等、彼女たちの経験と生き甲斐をお伝えします。

本冊子を読んで、皆さんのロールモデルになる女性が身近にいることを知ってください。これが女性研究者・社会人の働きぶりとワクワク感を身近に感じ、みなさんのキャリアの可能性を広げるきっかけとなれば幸いです。

最後になりましたが、本冊子を刊行するにあたり、寄稿者の皆様、作成にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

2015年3月

京都府立大学文学部教授
男女共同参画推進室 副室長
野口 祐子

目次

巻頭言 京都府立大学文学部 教授 男女共同参画推進室 副室長 野口祐子	2
Role Model 01：理想と現実のギャップを埋める努力が成長につながる。 岡田 寛子（株式会社 京都銀行 公務部長）	4
Role Model 02：好奇心と、「調べたら面白かった」という経験を大事にしてください。 岸本 恵実（京都府立大学 文学部 日本・中国文学科 准教授）	6
Role Model 03：とにかく実験。そして出会った人の縁は大切に。 清野 珠美（地方独立行政法人 京都市産業技術研究所 バイオ系チーム 研究員）	8
Role Model 04：〈わたしだからできること〉をみつけよう 高取 愛子（京都大学大学院 工学研究科 講師・一級建築士）	10
Role Model 05：目標を達成してみせるとの決意があれば、道は開ける。 長島 啓子（京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻 助教）	12
Role Model 06：農や食にかかわり続けて定年まで働く女性が増えることが私の願い。 中村 貴子（京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 講師）	14
Role Model 07：若い世代は「性別役割分業」の幻想から解放されてください。 野口 祐子（京都府立大学 文学部 欧米言語文化学科 教授）	16
Role Model 08：情熱が、研究のモチベーションに。 服部 敬子（京都府立大学 公共政策学部 福祉社会学科 准教授）	18
Role Model 09：自分自身が幸せであると感じられることが、よい仕事につながる。 山下 満智子（大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所 副主任研究員）	20
女性大学院生座談会 研究の魅力とは？	22
稲葉 理美（京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 博士後期課程2年）	
山東 綾乃（京都府立大学大学院 公共政策学研究科 博士後期課程1年）	
深田 史美（京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 博士後期課程1年）	
男女共同参画推進室がめざすもの	26
京都府立大学のイベント紹介	27